

オーストラリアでの様々な学び

藍住東中学校 曾根 武尊

僕は、今回の海外派遣事業で、積極的に行動することの大切さや、現地に行かないとわからないオーストラリアの文化や生活について学ぶことができました。

オーストラリアに行く前は、自分の英語がホストファミリーや現地の方に伝わるのか、少し不安でした。ですが、単語だけで話したり、簡単な言葉に直して話したりすることで、相手の人になんとか伝えることができました。

僕は、オーストラリアで生活をしていく中で、様々な気づきを得ることができました。

1つ目は、オーストラリアの人は、夕食や就寝の時間が日本に比べて早いということです。僕のホストファミリーの家では、夕食を食べる時間は午後5時半から6時頃で、就寝時間は午後9時頃でした。はじめは少し早いと感じていましたが、この生活にもだんだんと慣れ、気付けばそれが当たり前ようになっていました。

2つ目は、学校でモーニングティーをする時間があることです。モーニングティーは、午前10時頃に20分程度、お弁当に入っている果物やお菓子などを食べたり、外でバスケットボールやバレーボール、卓球などをしたりできる時間で、僕はこのような時間があることに、日本との違いを感じました。また、その時間に現地の生徒の人と一緒にバスケットボールをして、仲良くなることができました。

3つ目は、人の温かさです。はじめ、ホストファミリーと対面したときは、どのような人かわからず、不安になっていました。しかし、いざ話してみると、フレンドリーに接してくれて、とてもうれしく、それと同時に安心した気持ちになりました。また、学校の先生や生徒の人にも、僕に優しく話しかけてくれ、オーストラリアの人は優しく、フレンドリーであるということがよくわかりました。



また、オーストラリアで訪れた様々な場所も、非常に興味深かったです。はじめに訪れたオペラハウスは、白い屋根が青空によく映えて、とてもきれいでした。中では、日本語で現地のガイドさんに、オペラハウスに関する様々な情報を教えてもらいました。また、中にあるホールでは、あるグループが歌の練習をしていて、声がよく響いていました。



4日目に訪れたレプタイルパークでは、カンガルーに餌をあげたり、コアラをなでたりすることができました。どちらも初めての体験で、とても楽しかったです。最終日に訪れたブルーマウンテンズは、天気良く、広大な森を見て世界の広さを感じました。また、そこで乗ったトロッコは、勾配が52度ととても急で、スリルを味わうことができました。

今回の海外研修は、自分の視野を広げる良い機会になったと思います。また、現地で生活することで、オーストラリアの文化について学び、日本と違うところや、似ているところについて気付くことができました。僕は、この事業に参加して本当に良かったと思っています。これをきっかけに、これからは国際的な視野を持ち、積極的な行動を行うよう心がけていきたいです。

